

雄物川減災対策協議会

～大洪水から70年・30年～

平成30年10月29日  
雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会

## 雄物川危機管理演習を開催します ～大規模洪水に備え、関係機関の連携を強化～

雄物川流域では、昨年7月・8月洪水及び今年5月洪水が立て続けに発生しており、一年中いっどこで甚大な水害が発生してもおかしくない状況となっています。

雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会※では、「雄物川の減災に係る取り組み方針」の一環として、大規模洪水における河川管理者と自治体間との円滑な情報共有及び相互の連携強化を目的としたロールプレイング方式による「危機管理演習」を湯沢市と湯沢河川国道事務所が共同で以下のとおり開催します。

また、演習終了後には検討会を開催し、演習内容を振り返るとともに、今後解決すべき課題等について意見交換を行い、更なる連携強化に向けた検討を行います。

### <危機管理演習>

1. 実施日時：平成30年11月1日（木）9時00分～12時00分
2. 実施場所：湯沢市役所 3階庁議室、3階33・34会議室、2階会議室  
湯沢河川国道事務所 新庁舎 2階災害対策室、3階第一会議室
3. 参加機関：秋田県、秋田市、横手市、湯沢市、大仙市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村、秋田地方気象台、東北地方整備局 合計98名
4. 演習想定：湯沢市域に係る雄物川、皆瀬川、成瀬川を対象

### <検討会>

1. 日時：平成30年11月1日（木）14時00分～15時40分
2. 場所：湯沢市役所 3階33・34会議室
3. 内容：演習の振り返り、評価結果・講評、意見交換など

### ※雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会について

雄物川の大規模氾濫による被害軽減を図るため、市町村、県、国が連携・協力してハード・ソフト対策を総合的かつ一体的に推進することを目的として水防法に基づいた「雄物川の減災に係る取り組み方針」を策定し、各機関において減災のための各種取り組みを行っているものです。

#### 【協議会構成機関】

秋田市、横手市、湯沢市、大仙市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村、秋田県  
秋田地方気象台、秋田河川国道事務所、玉川ダム管理所、湯沢河川国道事務所

※発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢支局、秋田民報

### 《問い合わせ先》

雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会事務局

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

住所 湯沢市関口字上寺沢64-2

電話 0183-73-5544（調査第一課直通）

副所長（河川） 齋藤 茂則（内線204）

○建設専門官（河川） 野口 暁浩（内線403）

湯沢市 総務部 総務課 総合防災室

住所 湯沢市佐竹町1番1号

電話 0183-55-8250（直通）

防災監 藤井 達也

# 雄物川危機管理演習 概要①

## 1. 演習目的

本演習では、「雄物川の減災に係る取組方針」に基づく取り組みの一環として、大規模洪水時における河川管理者と自治体間との円滑な情報共有及び相互の連携強化を目的としたロールプレイング方式による演習を行い、災害初動期の対応行動の確認及び習熟を図るものである

## 2. 演習参加機関

- ◆演習部および指揮部として参加  
… 湯沢河川国道事務所、湯沢市
- ◆指揮部として参加  
… 湯沢河川国道事務所、秋田県、秋田市、横手市、湯沢市、大仙市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村、秋田地方気象台

## 3. 開催日・会場

- ◆開催日：平成30年11月1日（木）
- ◆会場：①湯沢河川国道事務所、②湯沢市役所  
※演習は、①、②の2会場で同時に実施  
※検討会および講評は、②の1会場に参加者が集合して実施

## 4. 演習スケジュール

時刻	次第
08:30 ~ 08:35 (5分)	開会・挨拶
08:35 ~ 09:00 (25分)	演習直前説明・作戦会議
09:00 ~ 12:00 (180分)	演習
12:00 ~ 14:00 (120分)	休憩・移動・準備
14:00 ~ 15:30 (90分)	検討会
15:30 ~ 15:40 (10分)	閉会・挨拶

## 参考 ロールプレイング方式の演習とは

- 災害対策本部の運営について効果的に訓練するための図上演習の方式。
- 大規模災害を想定した状況（被害想定、シナリオ）をつくり、図上で**災害を模擬体験**する。
- 演習を受ける側（演習部）と運営する側（指揮部）に分かれる。指揮部はシナリオを知っているが、**演習部はシナリオを知らされていない**。
- 演習部は、指揮部の演じる役割（関係機関、住民など）からの情報を収集・整理・分析し、**状況判断の上、なすべき行動を決断・指示**して、実施後の報告を受けるという一連の動きについて訓練する。



平成29年度演習の様子（演習部）

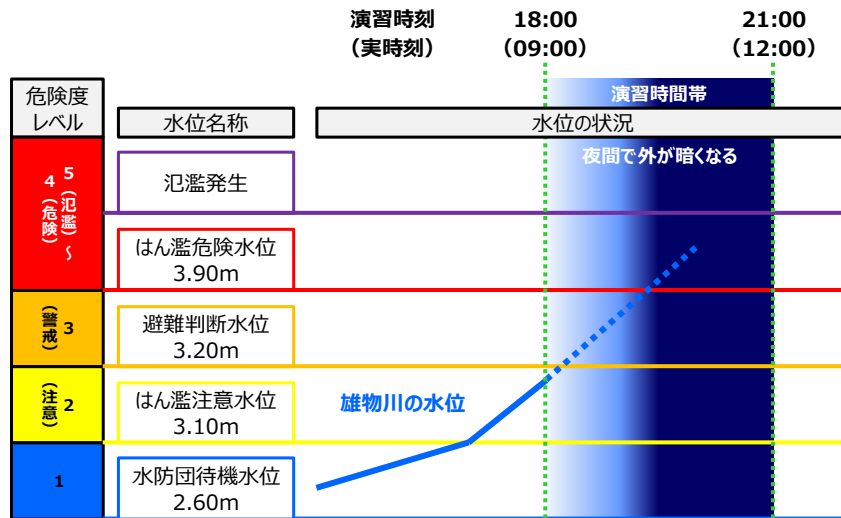


平成29年度演習の様子（指揮部）

# 雄物川危機管理演習 概要②

## 5. 演習場面

雄物川流域において大規模洪水の発生を想定する。  
外が暗くなり始める時間帯において、急激に雄物川や皆瀬川の水位が上昇し、越水・堤防決壊による氾濫が発生して住民避難等の災害対処活動が切迫する時間帯を演習場面とする。



## 6. 演習対象地域

- 市町村域：湯沢市
- 河川：雄物川上流部、成瀬川、皆瀬川

## 7. 主要演習項目

### ① 迅速かつ適切な情報収集・分析

- 災害情報（気象、雨量、水位、現地状況等）の収集
- 収集情報の整理および管内の状況把握・今後の見通し分析
- 組織内での情報共有
- 上部機関への報告
- 関係機関への情報伝達
- 被害状況や関係機関等の状況把握【連携】等

### ② 的確な状況判断

#### （夜間の急激な水位上昇に対する避難勧告・指示等の発令等）

- 河川管理者から自治体に対する避難勧告等に関する助言【連携】
- 避難勧告・避難指示等の適切な発令等

### ③ 大規模洪水における行政担当者の住民への正確な情報伝達

- 住民への避難に関する効果的な広報、情報伝達【連携】
- 住民・マスコミからの問合せ対応等

### ④ 浸水想定区域内における適切な避難誘導

- 河川管理者から自治体に対する浸水想定区域に関する情報提供【連携】
- 浸水想定区域内の把握と住民に対する情報提供
- 現場要員（市職員・消防）への適切な情報提供・避難誘導の指示
- 関係機関（警察等）への適切な情報提供・避難誘導の協力依頼等

### ⑤ 関係機関との緊密な連携

- 他項目に【連携】と記載

# 雄物川危機管理演習 概要③

## 8. 演習実施体制

